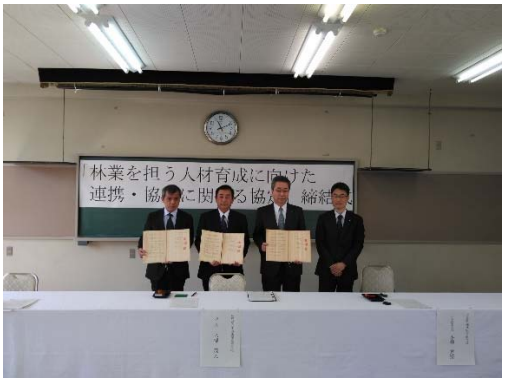
人材育成連携協定に基づく連絡・調整会議を開催しました

令和２年５月 29 日
広島北部森林管理署

広島北部森林管理署では、当署と広島県森林組合連合会及び広島県立庄原実業高等学校の３者が相互に連携・協力して、庄原実業高等学校環境工学科で林業を学ぶ生徒に対し継続した森林環境教育を提供することにより、次世代を担う人材育成に民国連携して取り組むことを目的とした「人材育成連携協定」を締結しています。

また、この協定の円滑な推進を図るため、４月と２月に３者による連絡・調整会議を行うこととしていましたが、今般の新型コロナウイルス感染を受け、４月開催が困難となり、広島県が国の緊急事態宣言解除されたことを受け、５月 29 日協定締結後初めての連絡・調整会議を庄原実業高等学校で行いました。



令和２年３月 24 日の人材育成連携協定締結式

連絡・調整会議では、広島北部森林管理署から今年度の森林環境教育カリキュラム内容と、実施時期(予定)について説明を行い、引き続き広島県森林組合連合会から林業就業希望者に対する支援業務、林業体験ツアーなどの各種事業地についての説明を行いました。

広島北部森林管理署からの説明(R2.5.29)

庄原実業高等学校からは、現在２年生から行っている森林環境教育を１年生から林業機械展示会、各種森林施業の現場見学会など、生徒が林業にふれあう機会の提供、林業に係る各種資格研修機会の提供など、多岐にわたる要望が出されました。

庄原実業高等学校からの要望に答える(R2.5.29)

広島北部森林管理署と広島県森林組合連合会では、提案された様々な要望について検討し、引き続き 3 者が有機的に連携・協力し、より良い森林環境教育を生徒に提供していきます。